【柏レイソル】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
関根　大輝、熊坂　光希

2024 年 11 月 5 日(火)、日立柏サッカー場にて、関根　大輝　選手、　熊坂　光希　選手が、クラブ運営サポート活動を行いました。
はじめに、クラブのマーケティング部の担当者より資料を基にクラブ運営に関する概要の説明を受けた後、ファンクラブ「アソシエイツ」提携店舗へ「応援のぼり」の発送作業を行いました。具体的には、発送伝票への宛名書き、発送物の梱包作業などを行いました。
選手たちは、日頃体験することのない活動を通して、裏方として働いているスタッフや関係者に対して感謝の気持ちを持ち、自分達が、ピッチの上で果たすべき責任を強く感じたようでした。

◎選手のコメント
関根　大輝　選手
私自身、このような作業を行ったことがなく、とても大変な作業だと感じました。また、宛名書をしている際に、こんなにも多くのスポンサーの方々がいるのだということを知ることができました。だからこそ、自分たち選手は、プレーで恩返しをしなければならないと感じました。

熊坂　光希　選手
今回の研修で、試合を行うために沢山の人たちの協力やサポートのおかげで、自分たちが何不自由なく試合を行えているのだと分かりました。だからこそ、自分たち選手は裏側で支えてくれている人たち等、全ての人たちに感謝し、勝利という結果で応えなければならないと思いました。

写真提供／柏レイソル

【柏レイソル】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
熊坂　光希

2024 年 9 月 25 日（水）、酒井根小学校で、熊坂　光希　選手が、シャレン！活動（子供の権利について考える教材開発授業のサポート）を行いました。

①　地域・社会課題：子どもの権利について知る、学ぶアクティビティ教材の開発

②　協働者：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/柏市立酒井根小学校/柏レイソル

③　活動概要や内容、目的

柏レイソルとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、子どもの権利の普及啓発活動の一環として、小中高校などの各学校で教員が活用できる、子どもの権利に関する教材（アクティビティ）の開発を進めています。2024 年 9 月 25 日（水）、開発中の教材を用いた授業を、柏市立酒井根小学校にて実施いたしました。

小学校 6 年生を対象としたこの授業では、参加型のワークショップを通じて、子どもの権利について共に考えました。学校（教育委員会）、国際 NGO、サッカークラブが協働し、選手と子どもたちが学校の授業の中では、すべての子どもたちにある権利についてジェスチャーを使いながら楽しく学ぶアクティビティやグループワークなどを実施しました。

※柏レイソルとセーブ・ザ・チルドレンの取り組みについて

柏レイソルとセーブ・ザ・チルドレンは 2012 年から連携をし、子どもの権利の推進のための活動を共に進めています。これまでに、ベトナム北部山岳少数民族の子どもたちへの教育事業への支援を行ったり、日本における「子ども虐待の予防」活動への支援として、約 4 万 3,000 人以上の大人と子どもに啓発活動を実施したりしてきました。また毎年チャリティマッチを開催しファン・サポーターの方へ柏レイソル選手が直接寄付を呼び掛けるほか、トップチームからアカデミーチームまで全ての公式戦ユニフォームへのセーブ・ザ・チルドレンロゴ掲出など、広報 PR 活動への協力も行っています。2022 年からは、「＃レイソルは子どもとともに」のキャッチコピーのもと、子どもも大人も子どもの権利を知り、子どもの声がきちんと聴かれる社会づくりを目指す教材作りへの支援を行ってきました。

◎選手のコメント

熊坂　光希　選手

授業の中で、「私は何の権利でしょう？」、「実は毎日の生活とつながっている！」という内容で子どもの権利について考えるミニアクティビティーを実施しました。

小学生と一緒に授業を受けてみて、実際「子どもの権利」というものを初めて深く知ることができ大

変勉強になった。また、子どもたち元気さや明るさを肌で感じたりすることができた。自分たちが出向くことで子どもたちも明るく楽しくやってくれていて良かった。

写真提供／柏レイソル